

夏期講習確認テスト講評(中2生)

●数学●

・中2選抜東大・医学部数学(2MJSS)

今回のテストでは、【1】場合の数・確率の小問集合、【2】円周角の性質と座標、【3】反復試行・期待値・条件付き確率、【4】立体図形、【5】平面図形総合問題を出題しました。

まず【1】では、「文章を正確に読む」ことができていないために失点している人が多かったです。日頃から1つ1つの言葉を大切に、図や絵を描きながら、思い込みがないかを考え、文を読むようにしましょう。これは数学を通して身につける大切な技能です。

【2】は講習で扱った問題の類題ですが、問題そのものは難しいためか、大きく点差がつかれました。復習は早いうちにしましょう。

【3】は「かけ算によって確率を求める」という、少し慣れが必要な単元です。「どの試行が独立か?」「どの事象が排反か?」を意識していない答案が多く見られました。感覚やイメージももちろん大事ですが、数学のルールに厳密にしたがって答えを導く技術も必要です。

【4】では、「数学的な根拠に基づいて図を描く」ことがポイントでした。何となくや、思い込みで図を描いてしまった人は反省しましょう。また、図をもっとはっきり大きく描きましょう。曖昧になったら図は描き直します。そういった基本を日頃の演習で意識するようにしましょう。

【5】は(2)まではよくできていましたが、(3)以降の小問のつながりを読み解けなかった人がしばしばいました。「なぜこのような小問が配置されているのか」を考えることは大切です。逆に、小問の意図が分かった人は高得点が取れていました。

今回は中学図形の総復習と高校数学Aの一分野を扱いましたが、これらは大切な単元です。今後何度も振り返ることになります。このテストを、そのはじめの一歩としてよく復習して下さい。

・中2数学(2MJS)

今回のテストでは、オーソドックスな問題だけでなくより実戦的な総合力を問う問題も出題しましたので、難しく感じたかもしれません。

【1】の展開・因数分解については、最終的には満点が取れるようにしたいところです。この範囲は今後学習する2次方程式など利用する機会が多いところですので、復習するだけでなく、演習量を確保しスムーズにできるようにしておきましょう。

【2】は相似の利用、【3】は1次関数の問題で、それぞれ標準的な問題です。できなかった人はきちんと復習しておきましょう。

【4】は1次関数と相似と、複数の分野の知識を問う融合問題でした。記述式だったこともあり、難しかったようです。このような総合問題に対応できる応用力を身につけることを最終目標にしてがんばりましょう。